

# 祈りの種をひろげよう!

校庭の向日葵も秋を迎えて、しっかり種を付けました。「種を分けて下さいませんか。」と新聞を読まれた市民の方々からの問い合わせを受けています。東北の復興への祈りの向日葵の種が来年の夏にはもっと多くの家々の庭先に拡がることでしょう。



実行委員会では、向日葵の種を、来たる11月23日(祝)開催の京都フェスタでひろげていく計画です。生徒・保護者・教職員のみなさんご協力下さい!

もちろん、来年も校庭に向日葵を咲かせて、復興の祈りの象徴としたいと思います。



種を取るための下準備の作業中です。あまりにも高く伸びた向日葵は長ハサミで切り取りました!



顔より大きな向日葵から、さぞかしたくさん種がとれることでしょう!!



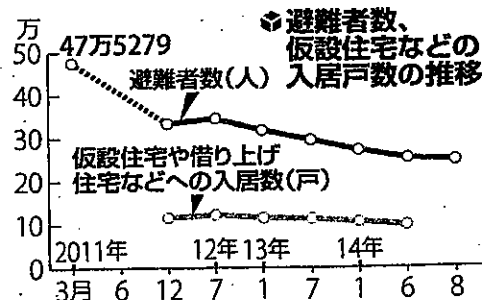
## 3年と半年被災地は

警視庁が10日発表した死者数は1万5889人、行方不明者は2601人。復興庁が発表した、被災3県<岩手・宮城・福島>の復興住宅建設は9.2%。阪神大震災では発生後3年半では計画の77%が完成していた。この数字から見ても復興の遅れは深刻な状況。一方で「目に見える復興も大切ですが、目に見えない復興にも力を入れて下さい。」と訴える親を亡くした子どもたちがいる。

被災地の死者、震災関連死、行方不明者の内訳(人)

	岩手	宮城	福島	その他	合計
死者	4673	9538	1611	67	1万5889
震災関連死	442	895	1753		3090(3県)
行方不明者	1132	1261	204	4	2601

※警察庁データ(9月10日発表)などから作成



# リレートーク

音楽科 米田 晋

今年の中学合唱コンクール(11/20)の課題曲は、「群青(ぐんじょう)」を選びました。一昨年の「明日へ」、昨年の「ふるさと」と、この3年間は東日本震災の復興を願う歌を課題曲に選んでいます。今年の「群青」は、福島県南相馬市立小高中学校の生徒たちがその思いを詩に込めて、小高中学校の音楽の小田先生が曲にし、作曲家の信長さんが編曲したものです。

福島県は「合唱王国」と呼ばれ、特に中学生高校生の歌声は澄んでいて、力があり、そのハーモニーは素晴らしい。震災後3ヶ月も満たない2011年6月に、福島県の高校生200名をお迎えし行われた京都会館での合唱祭でも、4つの高校それぞれの演奏も合同演奏も圧巻でした。

この曲は、先日放送された24時間テレビの中でも紹介されていたようですが、昨日(9/10)の朝日新聞京都ページの中でも取り上げられていたので、その記事を下記に掲載します。また、この曲の歌詞も載せたのでぜひ読んで下さい。中学生の皆さんは、この曲にそれぞれの思いやクラスの思いを乗せて、素敵な合唱をぜひ創って下さい。

今日のニュースで、鹿児島県の川内(せんだい)原発が再稼働に向けていよいよ本格的にスタートを切ったことが報道されました。私たちは何を学び、何を教訓として歩いていくのかが問われていると思います。まずは、「忘れずに」と「できること」と、心がけています。

## 9/10付 朝日新聞'京都版'掲載



福島県南相馬市立小高中学校の卒業生たち  
思いをつづった曲「群青」を収録したCD  
発売された。2013年に長岡京市で開か  
れた復興支援コンサートで、当時の在校生ら  
歌った歌声も収録している。

### 元中学生作詞の「群青」

# 南相馬の思い CDに

### 「群青」の歌詞

ああ あの町で生まれて  
君と出会い  
たくさんの思い抱いて  
一緒に時間を過ごしたね  
今 旅立つ日  
見える景色は違っても  
遠い場所で 君も同じ空  
きっと見上げてははず

「またね」と手を振るけど  
明日も会えるのかな  
遠ざかる君の笑顔 今でも忘れない

あの日見た夕陽 あの日見た花火  
いつでも君がいたね  
あたりまえが 幸せと知った  
自転車をこいで 君と行った海  
鮮やかな記憶が  
目を閉じれば 群青に染まる

あれから2年の日が  
僕らの中を過ぎて  
3月の風に吹かれ 君を今でも思う

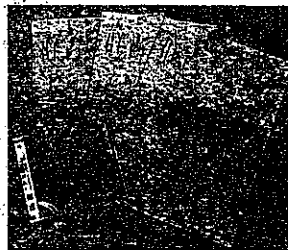
響け この歌声  
響け 遠くまでも  
あの空の彼方へも  
大切な すべてに届け  
涙のあとにも 見上げた夜空に  
希望が光ってるよ  
僕らを待つ 群青の町で

きっと また会おう  
あの町で会おう  
僕らの約束は  
消えはしない 群青の絆  
また 会おう 群青の町で・・・

## 長岡京の会社販売「多くの人に」

東京電力福島第一原発の20km圏内にある南相馬市小高地区。小高中では2人の生徒が津波の犠牲となり、故郷を離れた生徒も多い。仲間への思い、再会への希望。生徒らの言葉を音楽教師の小田美樹さんがまとめ、曲をつけたのが「群青」だ。

多くの合唱曲を手がけてきた作曲家の信長貴憲さんが編曲。昨年8月に発売された楽譜は、異例の売れ行



CDと楽譜の表紙には、小高中学校の関口聡教師が撮影した小高地区の海岸の写真が使われている

きを見せしている。出版した長岡京市の合唱楽譜販売会社「パナムジカ」によると、これまでに約1万部を販売。海外からも注文が入るといふ。同社は「さらに多くの人にこの曲を聴いてもらいたい」と願い、CD化を企画。1日に発売した。CDは1728円(税込)。

み)、長岡京の復興支援コンサートは13年の模様のほか、14年であった第3回で関西の合唱団や管弦楽団が披露したバージョンも収録。合唱版も含め、全7バージョンの「群青」が入る。パナムジカの担当者は「自分の中にある大切な友らへ思いを伝えたい」と語り、楽譜は、混声四部版、混声三部版、同声二部版の3種類あり、それぞれ432円(税込)。CD、楽譜ともパナムジカのホームページ( <http://www.panmusic.co.jp/ja/> )から購入できる。(小原智徳)